

今年の成人式は!!



津奈木での成人式の思い出はたくさんある。キャンダルサーブのとき、まっくらがりの中にろうそくのあかりをたよりに成人を誓ったあの神々しい瞬間
また朝のはんごうで御飯をたいた思い出など

成人式を次の通り行います。
期日 一月四日午後一時より
翌五日午前中まで
場所 中央公民館
日程 受付開始四日午後一時より
。班編成・分担決定 オリエ
ンテーション、キャンダル
サーブ準備 フォークダ
ンスなど
。会食 午後五時三十分より
婦人会招待の会食(今まで
は五日の中食であった)
。キャンダルサーブ、各班
競演の余興その他
。五日午前六時 ラジオ体操

発明展

熊日賞 糸まきとり機

。朝食 神社参拝 感想文作
成、記念撮影 解散
申込 準備の都合で参加人員を早
く知りたい。就職地より帰
郷される人も十一月十五日
までには区長さんに申し込
んで下さい。
尚不明の点は公民館まで御
連絡下さい。
あたたかい寄附
1 津奈木小学校へ
西川兵市氏より母の香典豆
2 赤崎小学校へ
吉野利氏より金一封
3 津南中学校へ
山下満太郎氏遺族山下和氏より
山下土熊氏より香典返し
野崎俊光氏遺族より

科学展

特賞

でんぶんの研究 平国小四年 松本隆之

さういふ楽しいことには、これ
が県代表の一つに選ばれて、東京
の全国大会に出品されることにな
った。
そんな機械は、ここで文字だ
けでは説明されないの、後日写
真までわかってもらおう機会があ
る。
小麦粉、じゃがいもの澱粉、からいもの澱粉を水でよいて熱を加
え、それぞれの澱粉がどうかわるかをしらべたもの。
小麦粉、じゃがいもの、からいもの澱粉を別々に熱し、二十度から
始めて八十度まで、十度ごとにそれらの変わりゆく状態を調べたも
のである。のり状になるのは小麦粉は六十度で一番早く、次は馬鈴
薯の六十五度、最後がからいもの七十度の順であった。
(坂井豊水教諭指導)

つゆの観察

赤崎小六年 浜田隆博 他五名

つゆの多い朝と少ない朝がある。そこでつゆはどんなときにで
るのかをしらべた。方法として、天気・気温・風向・風力・雨量・
雲量などをはかる一方、つゆの量を量った。去年の十一月三日か
ら今年の十一月二日まで一年間つづけた。
○つゆがふきにくいとき いちばんつきにくいのは、気温が低く風
ある日。
○つきやすいとき 晴れの日やくもりの日、気温が低く風ない日
(前田定邦教諭指導)

津奈木川の流量の研究

津南中三年 村上信 松本義孝

津奈木川の下流で流量をはかった。中学校で雨量をはかった。と
もに一年間の努力。川の集水面積(千七百六十二ヘクタール)と雨
量から計算して、何百トンの量が出てくる。こうして一年間の雨量
と流量の関係を記録を作り上げた。
ところが、学校と山で降る雨の量が違うのだから、学校での雨量
で計算した流量より、実際の流量が多いそう、尚研究の必要があ
ると、指導の大崎満洲美教諭は語られた。

津奈木町役場

事務分掌

総務課 (昭四四・十一・一現在) 課長 伊藤 益夫 補佐 議事事務局 選挙管理書記長 西川 兵市 総務係長 水浦 幸一 畑上磨由美 川野 広美 斉藤 五助 斉藤 栄二 農中のふ 藤原 保智 吉本 洋二 津奈木英子	企画課 課長 丸田 繁人 松崎 茂生 川崎 武松 鶴野 輝昭 佐々木太蔵 下川喜代次 建設課 課長 鶴田 幸人 補佐 戸籍係長 新立満寿美 伊藤 安子 津南中学校 柳田マサ子 松本 スヤ 川上ヨシ子 平野 涼子 松本 富美 川野みどり 西 順子	税務課 課長 川崎 武松 鶴野 輝昭 佐々木太蔵 下川喜代次 建設課 課長 鶴田 幸人 補佐 戸籍係長 新立満寿美 伊藤 安子 津南中学校 柳田マサ子 松本 スヤ 川上ヨシ子 平野 涼子 松本 富美 川野みどり 西 順子	徴収係 課長 佐々木太蔵 下川喜代次 建設課 課長 鶴田 幸人 補佐 戸籍係長 新立満寿美 伊藤 安子 津南中学校 柳田マサ子 松本 スヤ 川上ヨシ子 平野 涼子 松本 富美 川野みどり 西 順子	国保係長 課長 佐々木太蔵 下川喜代次 建設課 課長 鶴田 幸人 補佐 戸籍係長 新立満寿美 伊藤 安子 津南中学校 柳田マサ子 松本 スヤ 川上ヨシ子 平野 涼子 松本 富美 川野みどり 西 順子	衛生係長 課長 佐々木太蔵 下川喜代次 建設課 課長 鶴田 幸人 補佐 戸籍係長 新立満寿美 伊藤 安子 津南中学校 柳田マサ子 松本 スヤ 川上ヨシ子 平野 涼子 松本 富美 川野みどり 西 順子	国民年金係長 課長 佐々木太蔵 下川喜代次 建設課 課長 鶴田 幸人 補佐 戸籍係長 新立満寿美 伊藤 安子 津南中学校 柳田マサ子 松本 スヤ 川上ヨシ子 平野 涼子 松本 富美 川野みどり 西 順子	保育係長 課長 佐々木太蔵 下川喜代次 建設課 課長 鶴田 幸人 補佐 戸籍係長 新立満寿美 伊藤 安子 津南中学校 柳田マサ子 松本 スヤ 川上ヨシ子 平野 涼子 松本 富美 川野みどり 西 順子
---	---	---	---	--	--	--	--



発行所
津奈木公民館
芦北郡津奈木町
電話 (代表115番)
編集人 岡 松 壮
印刷所 緒方印刷所
八代市通町
電話(八代)② 3117番

火の用心
火事のおそろしさは知
りすぎるほど知ってい
て、なお火事が出るの
はなぜか?
なにか一つぬけている
ようだ。何だろうか。

グレープフルーツ等輸入
自由化に関する反対決議書

農家存亡のとき

津奈木町長 鶴田 宣 尊

昨日ま
満である。とくにわが津奈木は農
業構造改善事業には、みかんを基
本作目として全力をあげ、巨額の
金を投じたばかりの未成園である。
目的でみ
かんを獲
得してその受ける被害は一きわ大
きく、その前途には不安が満ちて
いる。
私はこの町民の意をくんで議長
とばかり、議会は全会一致で左の
通りの議決をみたことは、まこと
に喜ばしいことである。
今後の対策については、他の諸
団体と提携して善処し、万全を期
すことは、
非常な不

議 決 文

十月六日、政府は日米残存輸入
制限協議会において、米国に対し
グレープフルーツ並びにレモンジ
ュース等の輸入自由化を決定した。
このことは、国の農業基本法の
主旨に基づき、みかんを基幹作物
として農業構造改善事業と取り組

津奈木方言チンナンタンナリ(1)

- アングナク(とほけたさま) アンボナリ
 - アオス(波柿を甘くする)
 - アヤス(落す) ヒツチャイカシタ(落した)
 - アセクル(探す) アセクリチラス
 - アドル(考えがこんがり間違える)
 - アマル(載れる) 犬がアマル(犬がじゃれる) アマルモンチ
 - ネマル(余りものは勝るように、じゃれすぎると争いになる)
 - アマチギル(甘味あつてうまい)
 - アキシヤウツ(迷惑がる) アキシヤウタレタ(迷惑がられた)
 - アキシヤマメ(豊産で却って困る豆)
 - イロク(かわく)
 - イケズム(顔を赤らめてりきむ) イケズミタス(力み出す)
 - イギル(きりで穴をあける) イギル(雑) イギリホガス
 - イミル(ふる) イミラカス
 - イグジル(くじりよる)
 - ウシタル(する) インタツタ
 - ウツタツ(出発、着手、準備)
 - ウツチヨク(残しておく)
 - ウスク(すきくいたむ) 東京行キバウスイトル
 - エクロウ(酔う) エクレ(酔漢)
 - オメク(大声でいう)
 - オビタ(鰯のような小魚を料理する) オビキイワシ
 - オスム(目玉ます) オソム オソミツク(悟りをひらく)
 - オシガフル(髪をモジャくのはず) イツカフル
 - オゴル(しかる) (こちそうする)
 - オナク(あおろく) オナケル(あおむけにねる)
 - オヤス(植える)
 - カザム(かぐ)
 - カメク(かせく) カメギク(かせぎにく)
 - カラウ(背おつ) 子バカラウ(子供をおんぶする) ヌストカ
 - ルワセタ(盗まぬのに罪をきせる)
 - カカシル(かきむしる)
 - ガル(叱る) ガラレタ(叱られた) ガツソ(叱るぞ)
 - クセル(まがる) 板がクセル(板が曲った)
- 「熊本県南部方言考」 齊藤俊三著による 以下次号

